

一般社団法人日本女性航空協会

Japan
Women's
Aviation
Association

716 | 2026
Winter



空のワルツ

空を愛する女性のネットワーク
<https://www.jwaa.or.jp/>

そらあい2025
「空を愛する女性たちを励ます賞」表彰式報告

REPORT

ロケット発射見学体験記

「空を愛する女性たちを励ます賞」 開催報告

理事長 浦松香津子
写真 阿部紀子 小久保陽一



1997年に始まった「空を愛する女性たちを励ます賞（通称：そらあい）」は、これまで12回にわたり、航空業界や研究機関、公的機関で活躍する女性パイオニアを表彰し、女性の活躍が当たり前となる社会の実現に向けて発信してきました。

今年の「そらあい」のテーマは「空港を支える女性たち」。航空輸送の基盤を担う女性たちにスポットをあて、これまであまり知られてこなかった業務を紹介することで、航空業界の魅力を広くお伝えできればというテーマを決めました。

航空機の運航と空港を利用するすべての方の安全のために、それぞれの持ち場で頑張っている女性たちを紹介し、表彰した「そらあい2025」をご報告します。



そらあい 2025「空を愛する女性たちを励ます賞」受賞者の皆さま

	氏名（敬称略）	職種	所属
空を支える女性たち	高尾野 真希	空港消防職員	一般財団法人航空保安協会
	樋口 瑤美	グランドハンドリング	株式会社 JAL グランドサービス
	田澤 聡子	航空管制運航情報官	東京航空局東京空港事務所
	内中 りさ	航空灯火・電気技術官	航空局交通管制部
	渡辺 瑠夏	保安スタッフ	羽田エアポートセキュリティー株式会社
	京増 奈都美	空港案内スタッフ	一般財団法人成田国際空港振興協会
特別賞	鎌田 明子・ブレイケリー 祐紀	チャイルドケアステーション	ANA ホールディングス株式会社

「空を愛する女性たちを励ます賞」 表彰式・懇親会

日時：2025年11月14日(金曜日) 18:00～20:30
 会場：航空会館5階大会議室(東京都港区新橋1-18-1)
 参加者総数：100名
 懇親会参加費：無料
 後援：国土交通省航空局・(一財)日本航空協会
 協賛：成田国際空港(株)・日本空港ビルディング(株)・
 (株)Japan Biz Aviation・中日本航空専門学校・
 アビオンエアラインスクール・(株)アクティリーゼ・
 エアストリームジャパン・(株)ノアタウン・
 (公財)航空輸送技術研究センター

式次第

17:30 開場
 18:00 受賞者入場

あいさつ 浦松香津子理事長
 進俊則日本航空協会副会長
 宮澤康一航空局長
 選定委員報告 松尾亜紀子委員長(慶応義塾大学教授)
 高田直人委員(日本航空協会専務理事)

18:15～18:40 表彰式
 18:55 懇親会 乾杯の音頭：十河久恵さん
 19:15～20:10 受賞者プレゼンテーション
 20:30 懇親会終了

付帯企画

- ・ JWAA 及び受賞者業務紹介パンフレット配布
- ・ 空港写真展示
- ・ 空のイベント・青少年航空宇宙絵画国際コンテスト
最優秀作品展示
- ・ JWAA の歴史写真等展示



2025年11月14日(金)午後6時、東京都港区新橋の航空会館5階大会議室にて、満席の来場者から温かな拍手が送られる中、8名の受賞者が入場し、「空を愛する女性たちを励ます賞」表彰式が華やかに幕を開けました。

約半年にわたり準備を進める中で、さまざまな企業・団体の皆さまに協力をお願いしたところ、「とても良い企画ですね」「運航現場を支えるスタッフを紹介してもらえるのは嬉しいです」といった励ましの声を多くいただきました。

国土交通省航空局および一般財団法人日本航空協会から後援を賜り、宮澤康一航空局長からも「ぜひ出席したい」とのお言葉をいただいたことは、主催者として大きな励みとなりました。

受賞者の選定にあたっては選定委員会を設置し、2006年に「そらあい」にて受賞された慶應義塾大学の松尾亜紀子教授に委員長をお引き受けいただきました。

準備を重ねるほどに、「女性団体らしく華やかな式典にしたい」「女性がもらってうれしい記念品は?」「バックパネルも作りましょう」といった声が飛び交い、当協会スタッフの熱意も高まってきました。

プレゼンターの皆さま(敬称略)

松本 絢音	スカイマーク(株) 運航乗務員	空港消防職員へ
岡本 明子	Peach Aviation(株) 客室乗務員	グランドハンドリングへ
森 健明	(株)ANA総合研究所 取締役副社長	航空管制運航情報官へ
松田 実生	全日本空輸(株)整備士	航空灯火・電気技術官へ
進 俊則	(公社)日本航空機 操縦士協会会長	保安スタッフへ
十河 久恵	内閣府沖縄振興局参事官 元成田国際空港事務所長	空港案内スタッフへ
松尾 亜紀子	慶応義塾大学教授	チャイルドケア ステーションへ

トータルコーディネートされたプログラムが就職の
 機会拡大と人材の早期戦力化を図ります。

株式会社 A.R.T.

アビオン エアラインスクール

東京 東京都港区元赤坂1-1-15 ニュートヨビル7階
 電話 03-6804-6184 FAX 03-6804-6183

大阪 大阪大阪市北区梅田1丁目3-1 大阪駅前第一ビル3階
 電話 06-6136-3110 FAX 06-6136-3111

E-mail : info@avion-air.com
<http://www.avion-air.com>

「空を愛する女性たちを励ます賞」 受賞者の方々



高尾野 真希 | 26 歳

**所属
組織名** (一財) 航空保安協会
東京第一事務所

入社 2023 年 9 月

業務・経歴・部署等

東京国際空港及びその周辺における航空機事故等発生時の消火・救難・救急医療業務



樋口 瑶美 | 32 歳

**所属
組織名** (株) JAL グランドサービス /
成田支店・ランプサービス
事業部ランプコントロール課

入社 2012 年 10 月

業務・経歴・部署等

グランドハンドリング (搭降載) : 貨物や手荷物スタッフが用意したコンテナを航空機に積み込み、取り出し業務。グランドハンドリングの核となるポジション。

資格

LM (搭載監督者), HL 車, BL 車, PT 車, MDT 車, TT 車, マーシャリング, PBB. 各種 E/D, 各種 L/D, 各種 BULK DOOR, SENDER, A/C, インターフォン, W/W, チョーク, GPU



田澤 聡子 | 45 歳

**所属
組織名** 東京航空局 東京空港事務所
管制保安部 航空管制運航
情報官 (飛行場情報)

入省 1999 年 4 月
(航空保安大学校航空情報科入校)

業務・経歴・部署等

大分・福岡・佐賀・大阪空港事務所航空管制運航情報官、福岡航空交通管制部航空交通管理管制運航情報官、東京空港事務所航空管制運航情報官、航空局安全部運航安全課運送技術係長、航空局交通管制部運用課、教育係長、東京空港事務所主幹航空管制運航情報官



内中 りさ | 39 歳

**所属
組織名** 航空局交通管理部
管制技術課
航空灯火・電気技術室

入省 2009 年 4 月

業務・経歴・部署等

東京空港事務所、札幌航空交通管制部、新潟・新千歳・釧路空港事務所航空灯火・電気技術官、北海道エアポート(株)/ 釧路空港事業所サブマネージャー、航空局安全部航空交通管理安全室監査研修調整係長



渡辺 瑠夏 | 28 歳

**所属
組織名** 羽田エアポート
セキュリティー (株)
警備防災部警備防災課

入社 2018 年 4 月

業務・経歴・部署等

東京国際空港におけるターミナル警備業務、警備教育担当、CS 推進リーダー

資格

空港保安警備業務 1 級、施設警備検定 2 級、上級救命技能認定、サービス介助士



京増 奈都美 | 36 歳

**所属
組織名** (一財) 成田国際空港振興
協会
旅客事業部 旅客案内課

入社 2012 年 4 月

業務・経歴・部署等

成田国際空港における旅客案内業務、2022 年成田国際空港株式会社 CS・ES 推進部 CS 推進グループ出向、2025 年 4 月復職旅客事業部旅客案内課 主任

資格

実用英語技能検定 2 級、手話技能検定 3 級、サービス介助士



チャイルドケアステーション

**所属
組織名** ANA ホールディングス
未来創造室 デジタル
デザインラボ

鎌田明子・ブレイケリー祐紀 その他スタッフの方々

— 豪華プレゼンターから花束とねぎらいの言葉をもらう

表彰式のプレゼンターをお引き受けいただいたのは、スカイマークの操縦士・松本絢音さん、ピーチアビエーションの客室乗務員・岡本明子さんをはじめとする男女 7 名の皆さま。理事長が賞状を読み上げ授与、その後プレゼンターが記念品・花束の贈呈、そして記念撮影という流れをリハーサルで確認し、緊張も徐々にほぐれてきました。初対面であっても航空業界の仲間として打ち解けた温かな雰囲気生まれてきたなか、本番でプレゼンターから「いつもありがとうございます」などの労いの言葉もかけられ、大きな拍手。会場は終始なごやかな、とても楽しい表彰式となりました。

— 仕事紹介プレゼンテーションで会場が沸きました

受賞者の皆さまの仕事紹介パンフレットを当日ご来場の方々に配布しました。さらに懇親会で、受賞者の方々には 7 分間のプレゼンテーションを展開、簡単な自己紹介や、

この仕事を選んだ理由やきっかけ、業務で苦労したこと、嬉しかった出来事などを語っていただきました。どの方も話が抜群で、内容も興味深く、出席者はグラスを手にしながら熱心に耳を傾けていました。

また、今回のテーマである「空港を支える女性たち」とは別に、当協会特別賞を ANA ホールディングスのチャイルドケアステーションにお贈りしました。「空のワルツ715号」でもその活動をご紹介しましたが、表彰式にご出席くださった鎌田明子さんとブレイケリー祐紀さんのお二人は、さすが客室乗務員のご出身、華やかさとユーモアを兼ね備えた楽しいプレゼンテーションで締めくくってくださいました。

若い方にロールモデルを見せたい

部活でグライダーに取り組む大学生や他大学の女子学生も含めて 16 名にご出席いただきました。若い方が実際にロールモデルを見る機会を提供することは、将来この業界を目指してもらおうと非常に重要です。

グライダー女子に感想を尋ねたところ、「空港の仕事は遠い存在と思っていましたが、今回近づけました」「こんなに幅広い職種があるとは知らなかったので勉強になりました」「女子だから力が弱いと引け目を感じていましたが、実際に活躍している女性方を見ることができて本当によかったです」とのコメントが寄せられました。今回の経験が、今後の進路選択に良い影響を与えるきっかけになればと願っています。



乾杯の音頭は十河久恵
元成田空港事務所長



進俊則日本航空協会副会長



日本学生航空連盟の学生とOG



プレゼンターの松本絢音さん
と高尾野真希さん



制服姿がカワイイ
岡本明子さんと樋口瑠美さん

「そらあい 2025」は協会会員が総力を挙げて臨み、無事終了した喜びで、充実感と高揚感に包まれました。また受賞者ご本人以上に、所属する企業・組織の皆さまから喜びの声が寄せられたことも印象的でした。協賛も予想を上回るご支援が集まり、出席した方々からは「非常に内容の濃い会でしたね」と言っていただきました。

今回は、表彰式に直接お越しいただける関東圏の方々を対象に表彰いたしました。リモートで世界と容易につながる時代となりました。次回は日本全国、さらには世界へと視野を広げ、より多くの方々を表彰し、その活躍をご紹介していきたいと考えております。ご協力くださいましたすべての方々に心より御礼申し上げます。



あなたと空を学びでつなぐ
学校法人 神野学園 **中日本航空専門学校**
CNA
国土交通大臣指定 航空従事者養成施設
文部科学大臣認定 職業実践専門課程

JWAAメンバー ☆ レポート

ロケット発射見学体験記

稲垣 博子

ヘリコプターパイロットを辞めてすでに〇〇年、もう空は関係ないかなと思っていました。が、一昨年から意外にハマったロケット打上げ発射見学！ 目で見えるのはほんの数秒ですが、その感動たるや！ 今まで見たことのないまばゆいほどの光の輝きと空気をバリバリと伝わる発射衝撃音に心はきぎつげです。感動の力って凄いですね。一瞬の出来事なのにまた見にきたいと心から思ってしまいます。小さな子供からお年寄りまで、みんな感動のうずです。

国内ロケット発射場は、JAXA 種子島宇宙センター（鹿児島）、JAXA 内之浦宇宙空間観測所（鹿児島）、スペースポート紀伊の民間宇宙関連企業・スペースワンが建設したロケット発射場（和歌山）、北海道大樹町スペースポートの4箇所あります。種子島に数回、内之浦に2回、串本に1回行きました。



種子島ではどこにいてもロケット発射は見えますが、恵美之江展望公園、宇宙ヶ丘公園、長谷展望公園だと打上げのカウントダウンや発射後の軌道や切り離し等の実況放送が聞こえるので、感動が高まります。私たちはいつも恵美之江展望公園から見学していますが、どこもたくさんの人で賑わいます。

東京から種子島への行き方ですが、通常は羽田空港から飛行機で鹿児島に飛び、鹿児島空港からリムジンバスで鹿児島港に、そして高速船トッピーで1時間40分、種子島の北の西之表港に着きます。島の南にあるロケット発射場までのバスの本数は少ないので、レンタカーやタクシーの予約をして車の移動しないと大変です。一度、自分の車をフェリーに載せて行きましたが、移動で往復最低4日はかかります。打上げが延期になって3泊したので一週間の行程、海外旅行に行けますね。それと、種子島に泊まるのもホテルが少ないので一苦労します。

ロケットの打ち上げは予定の3分の2は変更になると言われていますが、私たちが行くようになってから、最初の予定通りに上がったことはありません。翌日に変更ならまだいいですが、ほとんどが延期で、飛行機や高速船トッピー、レンタカー、ホテルのキャンセルをします。一週間ぐらいして決まるとまたバタバタと予定の組み直しをする



Actyliese
by CREWNET



大変な作業になります。あの一瞬のために。でもやはり行きたいのですね。

余談ですが、小笠原の父島に小笠原追跡所というのがあります。まだロケット見学に熱心になる前、小笠原旅行の際に、ガイドが種子島から上がったロケットの追跡所だと教えてくれました。その時は「そうなのか」くらいでしたが、最近はその施設が気になります。この追跡所の主な役割は、種子島宇宙センターから打ち上げられたロケットの飛行経路や飛行状況の確認、および異常飛行の監視です。



施設内には飛翔中のロケットを電波で追尾する電波設備（精測レーダー設備、ロケットテレメータ受信設備など）が整備され、小笠原追跡所と種子島宇宙センターは専用の回線で結ばれ、取得されたデータはリアルタイムで伝送されるそうです。なにはともあれ、ますます興味深い世界です♪

そら女子のエンタメ情報 7

「戦争は女の顔をしていない」

原作：スヴェトラナ・アレクシェーヴィチ 訳：三浦みどり
コミック版（1～5巻） 作者：小梅けいと

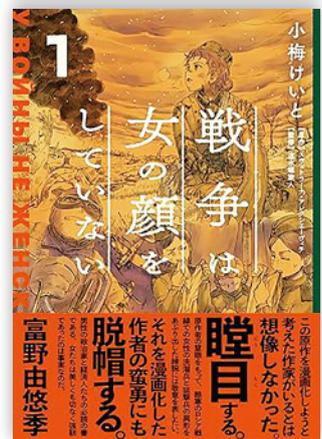
第2次世界大戦のソ連では、100万人もの女性兵士がいた。医師、看護師、飛行士、狙撃兵、戦車兵、修理兵、通信兵、…男性とほぼ同様に参戦し、前線に派遣されることもあったが、彼女たちは徴兵でなく志願、また戦後は英雄でなく世間からの冷たい偏見の目を浴びることになった。当時、男女平等に国に貢献するという意識が高く、戦争体験のない20歳前後の若い女性を中心に皆勇み立ち戦場へと向かった。

原作者はベラルーシで暮らすジャーナリストであったが、「男の戦争観とは異なる女たちの戦争の物語を書きたい」と長く表に出なかった彼女たちの戦いを、根気強いインタビューによって掘り起こしたのが本書であり、後にノーベル文学賞を受賞している。

そして、小梅けいと氏によるコミック版。この凄惨な物語を漫画化できるのは驚きで可視化することで子供にも想像しやすく、優しく品のある絵に関わらず、戦争とはどういうことなのかが伝わる大変優れた作品だ。

ウクライナもロシアも同志として戦っていたこの時代と、必然的に軍国少女・少年が現れ巻き込まれていく様を知ることができるこれら2冊、どちらでも今読んでおくのを強くお勧めしたい。

by ポッポ



私たちは、空港と地域との共生を図るため、空港周辺環境改善に取り組むとともに、空港と地域の活性化を図るための事業の支援を行っています。



一般財団法人 空港振興・環境整備支援機構

〒105-0011 東京都港区芝公園 1-3-1 留園ビル5F TEL:03-6452-9001 FAX:03-6452-9251

JWAA Information

2026 年を迎えてご挨拶申し上げます

昨年は多方面の皆さまより温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。新しい年を迎えるにあたり、本年の当協会の活動方針として、キャッチフレーズである「空を愛する女性のネットワーク」を一層強化し、より豊かなつながりを育む一年としたいと考えております。会員の皆さまが楽しんでいただけるイベントも考えておりますのでご期待ください。

正会員・賛助会員・企業団体賛助会員としてご協力ご参画くださる皆さまは着実に増えております。この広がりを力に、空を愛する女性たちがさらに活躍できるような活動や情報発信を積極的に行ってまいります。

ともに未来をつくる仲間として、多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

理事長 浦松香津子



「そらあい 2025」にて宮澤局長を囲んで、スタッフ一同がんばりました。

正会員・賛助会員・企業団体賛助会員としてご支援、ご協力をお願いします！

若い女性たちに航空業界の魅力をより広く伝えていくため、当協会では SNS をはじめとした情報発信を強化していきたいと考えております。しかしながら、現在は運営基盤が十分とはいえず、スタッフも限られているため、活動を支えてくださる皆さまのお力を必要としております。

「空が好き!」という思いをお持ちの女性であれば、どなたでも正会員としてご参加いただけます。また、空を愛する女性たちを応援して下さる男性の皆さま、企業・団体の皆さまには、賛助会員としてのご入会を心よりお願い申し上げます。

下記までeメールにてご連絡くださるか、ホームページの右上のバナー「お問い合わせとご案内」をクリックして詳細をご覧ください。

会費のご案内

正会員 ¥12,000

賛助会員（男性） ¥12,000

企業団体賛助会員 ¥100,000

広告募集中

「空の仕事に興味はあるけど、よくわからない」という若い女性が大勢います。「空のワルツ」に広告を掲載し、そんな悩める女性たちにアピールしませんか？当協会ホームページへも掲載します。

広告料

スペース 1/4 頁・下段 ¥50,000（税込）

編集後記

●そらあい2025の記事は編集作業に苦慮しました。書きたいことはたくさんあり、でも写真も一杯載せたい！最後までどの写真を掲載するか悩んだ末にこのような誌面になりました。協賛やプレゼンター、来賓の方々も全員は載せられませんでした、すみません。(UK)
●久しぶりの“そらあい”皆さまの協力のもと 楽しい開催となりました。特に表彰された皆さんが壇上でカッコよく輝いている姿は感動的でした。参加者からいろいろな職種で活躍する方々の「生の声」を聞くことが出来るととても参考になったと たくさんの応援メッセージも頂きました。(YC)●「そらあい」復活！航空業界の技術系ではどこへ行っても圧倒的に男性が多いのですが、今回、半数以上が女性である絶妙なバランスが、和やかで活気ある雰囲気を醸し出していたのでしょう。参加した女子学生皆さんには将来を安心していただけたのではないかと思います。(AN)

発行日：令和 8 年 1 月 25 日

編集印刷発行人：一般社団法人日本女性航空協会（1952 年 5 月設立）

〒105-0004 東京都港区新橋 1-18-1 航空会館 8F

TEL：03-6811-2377 / FAX：03-6811-2388

e-mail：sora-ai@jwaa.or.jp <https://www.jwaa.or.jp>

EDITOR IN CHIEF: URAMATSU Kazuko

DESIGN EDITOR: KOIZUMI Yuna

Copyright 2026 Japan Women's Aviation Association. All rights reserved.

© 一般社団法人日本女性航空協会 本記事の無断転載を禁じます。

